

都道府県名：熊本県	市町村名：水俣市
<p>1. 活動名 みなまたネイチャースクール2010</p>	
<p>2. 取組の背景、目的</p> <p>水俣病が公式に確認されてから50年目の2006年に始まったみなまたネイチャースクールは、これからの50年に向けて、大きな犠牲を払った水俣病の経験を胸に刻み、このようなことを繰り返さない未来をつくるため自然と自分たちのつながりを深く感じ、行動できるようになる人を育てていこうとしている。自然の中で思いっきり遊ぶことを通して、海や森や生き物たちに出会い、仲間に出会う。そのような体験から、自然の気持ち、人の気持ちがわかる子どもたちを育む。</p>	
<p>3. 実施主体 水俣自然学校</p>	
<p>4. 取組の概要</p> <p>日程：2010年8月6日～9日 3泊4日 場所：グリーンスポーツみなまた 参加者：小学3年生～中学1年生 13人 内容：8月6日 みんなと仲よくなる時間、カヌー練習、竹ばし作り、ごはん作り 8月7日 水俣湾に浮かぶ無人島、恋路島にシーカヤックで渡る、シュノーケリング、ごはんづくり、無人島の森の中に泊まる 8月8日 恋路島周辺カヌーツーリング、シーカヤックでグリーンスポーツに帰る、カヌーリレー、火起こし、班ごとの発表準備、さよならパーティー 8月9日 水俣魚市場見学、魚選び、班ごとに魚を使った食事作り、保護者に向けて班ごとの発表としての昼食、4日間の活動報告</p>	
<p>5. 支援事業（国、都道府県、各種団体等から支援、補助を受けている事業名、及び補助率を記入して下さい。）</p>	
<p>6. 取組等についての成果や課題</p> <p>5年目となり、参加者が水俣市内だけでなく周辺地域やさらには関東からの帰省時に子どもを参加させるなど、広がりを持ってきた。参加者が高校生になり、ボランティアリーダーとして関わってくれるようにもなっている。</p> <p>しかし、小学校高学年からは学校の部活動等に時間を取られるため、参加者とボランティアリーダーの募集には毎年苦労している。体験を通じた自然への気づきの機会を子どもたちに提供するためには、学校を離れて地域で子どもが育つ時間を確保する等の課題がある。</p>	

写真添付欄



写真の説明欄

みんなと仲よくなる時間
グリーンスポーツみなまたの森で
ネイチャーゲームを楽しむ



薪でごはん作り
何でも自分たちでやってみる



シーカヤックで無人島探検
照葉樹の森が海に浮かんでいるよう
な恋路島は、水俣の海にとって大切
な場所



自分たちと迎えにくる家族のための
ごはん作り
海の恵みに感謝して魚をさばき、料理
して食べることがこのキャンプの活
動発表